

豊後大野市商工会

会報

豊後あさひ

Bungoasahi

第29号

平成25年5月1日発行

プレミアム付き商品券事業の継続実施や

事業受注機会の拡大推進を要望

— 平成25年度商工会予算を市・議会に陳情 —

市内商工業者の振興対策やまちづくり対策等平成25年度の商工会事業をより効果的に推進する予算措置を図るため、市及び市議会に対して積極的な支援の申し入れをお願いしました。

特に、平成21年度から取り組んでいる「プレミアム付き商品券事業」と事業受注機会の拡大を目的とした「備品購入や建設工事受注拡大」の案件については、請願書を提出し、事業取組みの意義や必要性に対して理解を求めたところです。

市及び議会に対しての要望した事項は次の通りです。



① プレミアム付き商品券事業の継続実施についての請願

景気は上向き傾向にあるというものの、市内商工業者を取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況下にある。本事業は、平成21年度から取り組んでおり、市内消費者の買い物利便性や購買力の流出防止等を一層推進していく方針であり、継続実施のための予算措置を是非お願いしたい。

② 備品購入及び建設（建築含む）工事受注機会拡大についての請願

公共工事等の発注件数は、景気低迷の中で大幅に減少してきており、市内業者の受注機会も少くなっている。市内業者への受注機会が多くなることにより

事業所の経営安定が図られ、ひいては地域活性化に寄与できる。

③ 経営改善貸付融資制度（マル経融資）に対する利子補給のお願い

日本政策金融公庫の融資制度の一つである「マル経融資」は、無担保・無保証人とした中小企業者にとって大変有利な融資制度である。利用の拡大と中小企業者の経営改善に繋げる措置として、マル経融資の利息に対する補給制度の設立をお願いしたい。

④ 商工業振興のための商工会連営補助金に対するお願い

商工会の役割は、会員企業の経営改善発達を図ることのみならず、地域商工業全体の振興や

地域づくり・まちづくりに寄与していくことを目的にしている。今後も地域商工業の総合的な振興発展に向けて、市の商工政策と一体となって取り組んでいく方針であり、実施のための運営補助金として配慮をお願いしたい。

⑤ 豊後大野市ふるさとまつり開催会場持ち回りの検討を

平成23年度から一本化されて開催されており、開催会場は2年連続で三重町会場（フレッシュランドみえ）で行われ、三重町以外の周辺地域の住民は参加が難しくなってきた。開催会場を持ち回りで順番に実施すれば周辺地域の住民も参加し易くなり、より親しみのわく市民のお祭りとなるのではと考える。是非検討方をお願いしたい。

⑥ ケーブルテレビでの商工会に関する放送枠を設けてほしい

ケーブルテレビの放送は、市内の情報源をいち早く、確実にキヤッチできる。ケーブルテレビに、「商工会からのお知らせ」「催し物のお知らせ」「商店街情報」など商工会の放送枠を設けていただくことにより、市内の商工業者を知ってもらうとともに商工業の振興に繋げることができる。

⑦ 市内商店街等活性化対策の取り組みについて

平成23年度に「市内商店街及び商業集積地等活性化計画策定のための事前調査事業」に取組み、市内商店が抱える課題や問題点が改めて浮き彫りとなった。このまま何も手を加えなければ、商店街を中心とした市内の各商業集積地の衰退は目に見えて明らかである。活性化計画による実施方針の実行が不可欠であり、市・商工会・商店街と一体となった取組みを切に願う。

⑧ 商工会各支所の建物老朽化に伴う市支所への移転について

商工会各支所の商工会館は老朽化が進み、会館の補修等維持管理に係る費用が多額となってきた。立地場所が危険区域にある会館もあり、その対応も急がれる状況にある。維持管理等コストの削減や施設利用の安全性等を図るうえで市支所への移転利用についてご配慮をお願いしたい。

以上8項目が、市及び議会に対して要望した事項です。尚、請願した2つの案件については、豊後大野市議会平成25年第1回定例会において採択されました。



青年部

部長に小深田氏を再選

～青年部通常総会開催～

青年部（小深田聡部長・部員96人）は4月25日、ホテルますの井で平成25年度通常総会を開催しました。

全員で誓いの言葉を斉唱し、議長に岡谷正明さん（三重支部）を選任して、平成24年度事業報告・収支決算、平成25年度事業計画・収支予算について審議し、原案通り承認・決定されました。

また、任期満了による役員改選が行われ、小深田部長が再任されました。

平成25年度は、次の重点事業に取り組むことになりました。

- ① 組織強化対策事業
- ② 講習会・研修会事業
- ③ 中小企業支援策の活用促進
- ④ 地域振興事業
- ⑤ 奉仕活動事業
- ⑥ 交流事業

*豊後大野市商工会 青年部新役員

部長	小深田 聡（緒方）
副部長	高柳 東洋（犬飼）
常任委員	衛藤 克樹（朝地）
水野 裕司（緒方）	
江藤 伸吾（清川）	
恵藤 誠（千歳）	
志村 大介（朝地）	
金子 秀治（大野）	
佐藤 晃（清川）	
諏訪 貴政（三重）	
安部 恵一（犬飼）	
宮成 正弘（千歳）	
佐々木克明（三重）	
監査委員	衛藤 勲（大野）

女性部

広瀬知事を囲む懇談会及び事例発表 ～スコジャミセブンの活動について～

平成25年2月大分市内で広瀬知事を囲む懇談会が開催され、女性部の事業活動についてご理解とアドバイスを頂き、又、事例発表では小野副部長が「スコジャミセブンの活動について」

取組みのきっかけやこれまでの活動成果について発表し、全員で踊りを披露しました。知事さんも噂では聞いていたということで、今後も若い人達



TV番組で豊後大野市をPR

～きらり九州めぐり逢い～

4月7日、道の駅みえの春祭りが開催されスコップ三味線を披露しました。その後、場所を商工会本所の大ホールに移動し、TVQ九州放送の旅番組「きらり九州めぐり逢い」の取材がありました。この番組は、九州のいろんな地域で様々な人たちの活動や暮らしぶりを伝えるヒューマン・ドキュメント・バラエティ番組です。

当日は、番組の旅人でタレントの荻谷俊介さんを囲んで女性部の活動について語り合い、豊後大野市を盛り上げようと女性部の意気込みを、思う存分アピールしました。最後に、荻谷さんはスコップ三味線に挑戦。女性部との共演を楽しみ、そのパ



ワーに圧倒されていました。尚、この番組は5月11日午後8時からTVQ九州放送で放映予定です。



シリーズ

経営革新を取り入れる

(有) 古澤技研社長

古澤 誠司さん (部品製造)

『日本の町工場が技術革新の最先端をつくり出す』そんな事を書いた本に出会ったことがある。古澤技研を訪問して、そのことを思い出した。

朝地町の国道57号線沿いに、その会社がある。平成18年1月に創業。本業は、半導体、液晶製造装置の部品製造。自動車の検査装置の部品等を注文に応じて作る。1つの部品でも複雑なものは3日かかるものもある。奥さんと二人の経営である。

リーマンショックの経験で、不況にも耐えうる会社にと自社で製品開発することも始めた。1つは『Iフォーンケース』。丈夫なため、普通の自動車に敷かれても保護することができる。

デザインもオリジナル。もう一つは、鉛筆彫刻家である山崎利幸さんの作品ケース。鉛筆の芯の彫刻のため壊れやすく、それを保護するための丈夫なケース。本人は「活字を追うより物を作るほうが私に合っているようです」という。幼少のころはプラモデルが流行していた時代。3度の食事も忘れて出来上がる

まで熱中していたという。技術家庭が好きで、裁縫が好き。腐葉土を作り菊を苗から育て上げたこともあるほど、一つのことを成し遂げるまで頑張る性格の持ち主でもある。本人は「技術者でなく技能者でしょうね」という。高校は工業高校の電気科に進み、卒業後は東京に憧れて電機メーカーに数年勤務。帰郷してからも、いくつかの会社を経験。ちょうどバブルの時期だったこともあり、あるセクシヨンの立ち上げを担当させられ、苦労したことも。1年間は赤字の連続で、製品が完成に近づくようになってやっと黒字に転じた。

物づくりが好きで好きでたまらない

こんな経験から、自分で会社を立ち上げる夢を持ち始めた。しかし、自身は会社を大きくするという夢ではなく、物作りが好きだからこでしつかりしたものを作り上げることができた



作業場で仕事をする古澤さん

ら最高。小さくてもしつかり経営ができ、周りの人たちも、何か出来るのでは、やってみよう、そんな刺激が与えられたらな良い。

自宅の大分市から毎日通勤。困った時など常に商工会に相談するという。これからの課題は、「Iフォーンは旬のもの。自社製品は、ライターのジップポーミに長く使えるモノづくりをしたい。だからと言って多量生産はしない。希少価値のあるほうがいいです。」と言う。

本人自身「今の仕事に魅力を感じています。お金には苦労していますが、好きな道だから精神的には参りません。食えればいいと思っています。でも名前は皆さんに知ってもらいたいですね」と語る古澤社長の目は輝きに満ちていた。

日本政策金融公庫の貸付利息

(平成25年4月10日現在)

○普通貸付

融資期間	基準利率 (%)
5年以内	1.85
5年超 6年以内	1.95
6年超 7年以内	1.95
7年超 8年以内	1.95
8年超 9年以内	2.05
9年超 10年以内	2.15
10年超 11年以内	2.15
11年超 12年以内	2.25
12年超 13年以内	2.25
13年超 14年以内	2.35
14年超 15年以内	2.35
15年超 16年以内	2.45
16年超 17年以内	2.55
17年超 18年以内	2.55
18年超 19年以内	2.65
19年超 20年以内	2.65

○経営改善貸付

運転資金・設備資金	1.55%
-----------	-------

ホームページ：http://www.jfc.go.jp/

商工会朝地支所・清川支所の事務所移転について

平成24年4月1日から朝地支所・清川支所が下記のとおり移転となりました。

■朝地支所：〒879-6222

豊後大野市朝地町朝地 891 (市役所朝地支所2階)

■清川支所：〒879-6903

豊後大野市清川町砂田 1819 (市役所清川支所1階)

※電話番号・FAX番号に変更はございません。

～人事異動～

(平成25年4月1日付)

◆転出者

大野支所	経営指導員	角谷 浩一	→	大分県商工会連合会
------	-------	-------	---	-----------

◆転入者

佐伯市番匠商工会	経営指導員	後藤 正則	→	大野支所
----------	-------	-------	---	------

..*.*.* 商工会費・各種共済口座振替一覧 *.*.*.*.*

項 目	振替日	振 替 月	支 払 方 法
会費	27	6月・9月・12月・2月	年4回、2回、1回
貯蓄共済	22	毎月	毎月
福祉共済	27	毎月	毎月
小規模企業共済	18	毎月	毎月、年1回、年2回
倒産防止共済	27	毎月	毎月
中小企業退職金共済	18	毎月	毎月
特定退職金共済	19	毎月	毎月
火災共済	25	毎月	年1回
自動車共済	27	毎月	毎月、年1回
まごころ共済	10	毎月	毎月、年1回
生命傷害共済	20	毎月	毎月、年1回
医療総合保障共済	27	毎月	毎月

小さな掛金 大きな 安心 商工貯蓄共済

貯蓄・保険・融資

貯蓄・保険・融資で 大きな安心

商工貯蓄共済は、許可事業として国・県の指導を得た事業であり、福利厚生と事業資金の貯蓄を兼ねた、「貯蓄・融資・生命保証」が三位一体となった商工会員のための制度です。

- 特徴 1 貯蓄** 毎月の掛金は、その大部分が貯蓄積立金となり、保険料にまわる金額がごくわずかです。
- 特徴 2 融資** 事業資金および消費関連資金として融資が受けられます。
- 特徴 3 保証** 万一の場合に大きな保障（生命保険）があります。

* 4月1日からリビングニーズ特約が導入されました。

～商工会会員状況～

* 平成 24 年 4 月 1 日現在 924

* 平成 25 年 4 月 1 日現在 902

★未加入者のご紹介をお願いします。★

年金等に関するご相談について

毎月第2木曜日の午前10時から午後3時まで、社会保険事務所が、商工会本所にて社会保険出張相談を実施しております。是非ご利用下さい。

5月、6月の相談日は



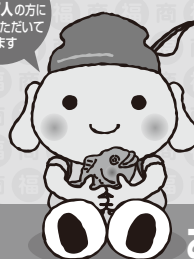
**5月9日(木)と
6月13日(木)**です。

あなたも家族もまるごと守る! 頼れる補償の

商工会の福祉共済

全国商工会会員福祉共済

商工会会員
約10万人の方に
ご利用いただいで
います

「病気」の
補償「けが」の
補償「がん」
重点補償

お申込みはご加入の商工会まで

*「病気」の補償は「けが」の補償に加入されている方のみがお申込みいただけます。

豊後大野市商工会

本 所 / 〒879-7131 豊後大野市三重町市場 539 番地
TEL 0974-22-1193 FAX 0974-22-5759

朝地支所 / 〒879-6222 豊後大野市朝地町朝地 891 (市役所朝地支所2階)
TEL 0974-72-0049 FAX 0974-72-0566

大野支所 / 〒879-6441 豊後大野市大野町田中 77-1
TEL 0974-34-2234 FAX 0974-24-5101

緒方支所 / 〒879-6601 豊後大野市緒方町馬場 269-2
TEL 0974-42-3310 FAX 0974-42-3361

清川支所 / 〒879-6903 豊後大野市清川町砂田 1819 (市役所清川支所内)
TEL 0974-35-2277 FAX 0974-35-2090

三重支所 / 〒879-7131 豊後大野市三重町市場 539
TEL 0974-22-1193 FAX 0974-22-5759

犬飼支所 / 〒879-7306 豊後大野市犬飼町下津尾 4037
TEL 097-578-0059 FAX 097-578-1514

千歳支所 / 〒879-7401 豊後大野市千歳町新殿 235-3
TEL 0974-37-2953 FAX 0974-37-2953

HP : <http://bungo-ono.oita-shokokai.or.jp>
mail : info@bungo-ono.oita-shokokai.or.jp